

教科名	科目名	単位数	科	履修年次
保健体育	保 健	1	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
クラス別	1クラス	保健体育科		

教科書(発行所)	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)
教科書以外の教材(発行所)	現代高等保健ノート 改訂版 (大修館)

目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。		
学習のねらい	1 生涯を通じる健康 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。 2 社会生活と健康 社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回考査	無し
		第2回考査	P64「思春期と健康」～P87「さまざまな保健活動や対策」 適宜プリント
		前期末考査	無し
		第3回考査	無し
		第4回考査	無し
評価の観点 評価の方法	○ 評価の観点は、個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 ○ 評価の方法は、定期考査(中間考査はなし)、レポート提出、ノート提出、出席状況等により、総合的に観点別に評価していく。		
	先生からのアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、学習ノートの記録の仕方など) ○ 移動教室が多いため、行動を敏速に決して遅刻をしない。 ○ 提出物は必ず出す。レポート・ノート等の点数の配点が大きいので気をつけること ○ 予習までする必要はないが、教科書等忘れ物は決してしない。		

年間授業計画表(男女)					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前 期	4	第2章 生涯を通じる 健康	1, 思春期と健康	2	・思春期の心身の発達と健康障害と健康的な生活習慣
	5		2, 性意識と性行動の選択	2	・思春期の性意識・性行動と問題責任ある性行動選択
			3, 結婚生活と健康	2	・結婚生活と健康、健康な妊娠・出産
			4, 妊娠・出産と健康	2	・男女の生殖機能と役割 受精のしくみ、妊娠・出産期の健康
	6		5, 家族計画と人工妊娠中絶	2	・家族計画の意義と方法 ・正しい避妊法、人工妊娠中絶について
			6, 加齢と健康	2	・加齢に伴う心身の変化 ・のぞましい老年期の過ごし方
	7		7, 高齢者のための社会的取り組み	2	・高齢者の健康課題とその支援
			8, 保健制度とその活用	1	・保健行政・保健サービスについて
	9		9, 医療制度とその活用	1	・医療サービスの利用の仕方
			10, 医薬品と健康	2	・医薬品の種類と使い方
			11, さまざまな保健活動や対策	2	・保健・医療・福祉の連携について
後 期	10	第3章 社会生活と 健康	1, 大気汚染と健康	2	・大気汚染の問題化 ・地球規模への広がりについて
	11		2, 水質汚染、土壌汚染と健康	3	・水質・土壌汚染の原因 ・大気、水質、土壌汚染の関連
			3, 健康被害の防止と環境対策	2	・環境汚染を防ぐための社会的取り組み ・私たちに出来ること
	12		4, 環境衛生活動のしくみと働き	2	・ごみの衛生的な処理
			5, 食品衛生活動のしくみと働き	2	・行政・企業の食品安全へ活動
	1		6, 食品と環境の保健と私たち	2	・食品の安全と私たちの役割
			7, 働くことと健康	2	・働き方の変化による健康被害
	2		8, 労働災害と健康	2	・職業病・労働災害について
			9, 健康的な職業生活	2	・職場における取り組み
				総時間数	39

教科名	科目名	単位数	科	履修年次
保健体育	体 育	2	普通科 理数科	2
履修形態		授業形態		指導者名
男女別	普通科2クラス合併2 普通科1クラス理数科1クラス合併1		保健体育科	
教科書(発行所)				
教科書以外の教材(発行所)		健康スポーツ・個人日誌(独自作成教材) ステップアップ高校スポーツ(大修館)		
目 標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
学習のねらい (基本的な考え方)	1 陸上競技 (1) 自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録を高めたりする事ができるようにする。 (2) 互いに協力して練習や競技ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。 (3) 自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。 2 球技 (1) チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。 (3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。 3 体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。			
定期考査	な し			
評価の観点 評価の方法	○評価の観点は、体育への関心・意欲・態度、自分やチームの能力に応じた課題を設定して努力しているかという思考・判断、実践している運動種目の特性に応じた技能を身に付けているかという運動の技能、実践している種目の特性に応じ、効果的な練習の仕方・ルール・審判法・競技会の企画・運営の仕方を理解し、知識を身に付けているか。 ○評価の方法は、自己評価・相互評価・ノート提出・レポート提出・運動技能テスト・出席により、総合的に観点別に評価していく。 ○毎時間が評価の対象であり、学期に数回の技能テストも行う。			
先生からのアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、学習ノートの記録の仕方など)	○事前に授業内容を聞きに来る。 ○更衣を早くし、授業には遅刻をしない。 ○自己健康管理をし、体調の悪い時は担当教師に申し出る。 ○体操服・体育館シューズ等の忘れ物をしない。			

年間授業計画表(男女)					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前 期	4	オリエンテーション		2	授業を受けるに当たっての注意
		新体力テスト	握力・長座体前屈・上体おこし・反復横とび・50m走・ハンドボール投・立ち幅跳び・シャトルラン	4	お互い協力しながら手際よく測定できるようにする。
	5	選択体育	選択種目 1. バレーボール 2. ソフトボール 3. テニス(卓球)	29	生涯体育に向けて、自ら進んで体を動かすようにする。 安全に留意し、お互い協力しながら練習・ゲームを行う。
	6				常に技術習得を意識しながら、練習、ゲームを行い、グループ内では役割を分担しながら学習を進める。
	7	体育理論	運動・スポーツの学び方	4	スポーツの技術と戦術 技能の上達家庭と練習 効果的な動きのメカニズム
	9				
	10	選択体育	選択種目 1. バスケットボール 2. バドミントン 3. サッカー	28	生涯体育に向けて、自ら進んで体を動かすようにする。 安全に留意し、お互い協力しながら練習・ゲームを行う。
	11				常に技術習得を意識しながら、練習、ゲームを行い、グループ内では役割を分担しながら学習を進める。
		体育理論	運動・スポーツの学び方	3	技能と体力 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
後 期	12				
	1 2	長距離走	校内のコースを走る	8	自分の目標を立て、ペースを設定して安定したタイムで走ることを大きな目標とさせる。
総時間数				78	